

労働映画百選通信 No.23 2017.12

発行 ■ NPO法人 働く文化ネット 編集 ■ 清水浩之 〒101-0062 千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館5F

労働映画鑑賞会

働く文化ネットでは、毎月第2木曜日に労働映画鑑賞会を開催しています。お気軽にご参加ください。



第44回 十人十色の幸せ探し

イタリアで行われた世界で初めての挑戦——精神病院の廃止
そこで生まれた知られざる実話に、イタリア全土が笑って泣いた！

- ・開催日：2017年12月14日(木)18:00~ (参加費無料・事前申込不要)
- ・会場：連合会館 2階 201会議室(地下鉄 新御茶ノ水駅 B3出口すぐ)
- ・上映作品：**人生、ここにあり！**

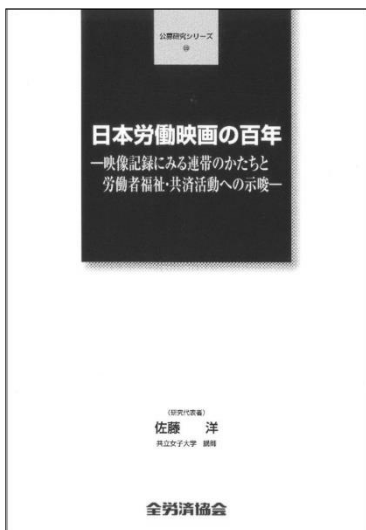
“Si può fare” 2008年/111分/カラー <http://jinsei-koko.com/>
監督 ■ ジュリオ・マンフレドニア 出演 ■ クラウディオ・ビジオ アニータ・カプリオーリ
1983年、「バザリア法」による精神医療の脱施設化、患者の病院への隔離から地域医療への転換という社会実験が行われていたイタリアで、どのようなドラマが生まれていたのかを実話をもとに描いた、愛と笑いの人間賛歌です。
ぜひ多くの方々に鑑賞していただきたいと思います。ご来場をお待ちしています。

【DVD】ハピネット

日本の労働映画百選 <http://hatarakubunka.net/>

『明治の日本』(1897)から『下町ロケット』(2015)まで!“働く姿”を描いた百本をセレクト

「日本労働映画の百年」報告書が完成



働く文化ネットと協力関係にある映画研究者たちによる『日本労働映画の百年—映像記録にみる連帯のかたちと労働者福祉・共済活動への示唆』

(全労済協会公募研究シリーズ)が完成しました。

本編51頁：労働映画についての考察研究編

別冊96頁：1895年～2016年の日本の労働映画1,468作品目録

ご希望の方は下記の要領でお申し込みいただければ、送料実費でおわけします。

◇申し込み方法

『日本労働映画の百年』報告書の送付希望 /

希望送付先の宛名<郵便番号、住所、氏名>

を記載したメモ(様式は自由)と郵便切手360円分(レターパック代)を同封して、下記までお申し込みください。

〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台3-2-11 連合会館5F
NPO法人 働く文化ネット

【上映情報】労働映画列島！11～12月 ※《労働映画列島》で検索！<http://d.hatena.ne.jp/shimizu4310/00171203>



◎新作ロードショー

希望のかなた 《12月2日(土)から 東京 渋谷 ユーロスペースほかで公開》
内戦が激化するシリアのアレッポから、遠く離れたフィンランドの首都ヘルシンキに辿り着いた青年。地元のレストランオーナーたちと絆を育んでいく。
(2017年 フィンランド 監督/アキ・カウリスマキ)

恋とボルバキア 《12月2日(土)から 東京 ポレポレ東中野ほかで公開》
日本人の7.6%といわれるセクシュアル・マイノリティの現在を描くドキュメンタリー。様々な悩みや夢、恋と幸せ、生きづらさを捉える。(2017年 日本 監督/小野さやか)

わたしは、幸福(フェリシテ)

《12月16日(土)から 東京 ヒューマントラストシネマ有楽町ほかで公開》
アフリカ・コンゴの首都、キンシャサ。バーで歌いながら、シングルマザーとして息子を育てる女性を描く人間ドラマ。(2016年 フランス=セネガルほか 監督/アラン・ゴミス)



◎名画座・特集上映

▼北海道・東北

【函館 クレモナホール/他】12/1～3「**函館港イルミネーション映画祭**」
…新・喜びも悲しみも幾歳月/嘘八百/いぬむこいり/セブンティーン、北杜 夏/他
【弘前 中三スペースアストロ】12/2「**弘前出身、木村文洋監督特集**」…息衝く/へばの

▼関東・甲信越

【東京 恵比寿 東京都写真美術館】11/25～12/15「**ポーランド映画祭**」
…早春/オラとニコデムの家/人生の舞台/コルチャック先生/ズビシェク/他
【東京 渋谷 ユーロスペース】11/25～12/1「**アキ・カウリスマキが愛するフィンランドの映画**」…夏の夜の人々/白いトナカイ/労働者の日記/ラブシーとドリー/他
【東京 京橋 フィルムセンター】11/28～12/24「**チェコ映画の全貌**」
…大聖堂の建築者/土曜から日曜へ/サイレン/火事だよ！カワイ子ちゃん/他
【東京 御茶ノ水 全電通労働会館ホール】12/3「**国際有機農業映画祭**」
…未来の収穫(フランス)/たね(アメリカ)/ユーターン(ルーマニア)/他
【東京 池袋 新文芸坐】12/3～12「**おのおの方、討ち入りでござる！大忠臣蔵映画祭**」
…元禄忠臣蔵/忠臣蔵(1954年版/1959年版/1962年版)/サラリーマン忠臣蔵/他
【まつもと市民芸術館】12/1～3「**爆音映画祭 in 松本**」
…問いかける焦土/ブルース・ブラザーズ/鉦 ARAGANE/はらはらなのか。/他



▼東海・北陸

【金沢21世紀美術館】12/9・10「**ニッポンカゲキ 歌って踊ってる場合ですよ!!**」
…君も出世ができる/エノケンの頑張り戦術/ジャンケン娘/大学の若大将
【岐阜 ロイヤル劇場】12/16～29「**高峰秀子特集**」
…カルメン故郷に帰る/永遠の人(週替り1本立上映)

▼関西

【和歌山市民会館】12/5～7「**優秀映画鑑賞推進事業 激動の昭和**」
…独立愚連隊/日本のいちばん長い日(1967)/洲崎バラダイス赤信号/雁の寺
【神戸 パルシネマしんこうえん】
12/18～29 はじまりへの旅/ちょっと今から仕事やめてくる(2本立)

▼中国・四国

【シネマ尾道】12/2～5「**銀幕・嵐を呼ぶ男たち特集**」
…嵐を呼ぶ男(1957)/暁の脱走/悪名/隠し砦の三悪人
【徳島市シビックセンター】12/17「**徳島でみれない映画をみる会**」
…セールスマン(2016年 イラン=フランス)

▼九州・沖縄

【福岡市総合図書館 シネラ】12/1～22「**マレーシア・シンガポール映画特集**」
…チキンライス・ウォー/追いつ追われつ/砂利の道/相撲ら！/水辺の物語/他
【北九州市立門司市民会館】12/9・10「**門司シネマフェスタ**」
…夜の河/五瓣の椿/雪国/五番町夕霧楼



【テーマ研究】#11 《金融業界》 資料作成:波多楽久



【DVD】ポニーキャニオン

今からちょうど20年前の1997年11月24日、山一證券が自主廃業を発表。野澤社長は「社員は悪くありませんから！」と叫んだが、会社に入れば「そのまま終点まで運んでもらえる」日本型雇用のイメージが崩壊した瞬間だった気もする。2015年に放送された『しんがり～山一證券 最後の聖戦～』は、社員たちがどんな決断を迫られたかを描いた「会社版タイタニック」として見応えがあった。この他、銀行・証券・保険など《金融業界》を舞台にした作品を集めてみても、そこで働く人間たちの葛藤を描いているものが多い。

ジャンル：【無印】劇映画 【記】記録映画 【短】短編映画 【TV】テレビ番組 ソフト：【DVD】
映像ライブラリー：【NHK】各局の公開ライブラリーで閲覧可能 【放L】放送ライブラリー（横浜）で閲覧可能

腰辯頑張り(1931) 松竹 監/成瀬巳喜男 出/山口勇
人に頭を下げなくてはならない保険勧誘員の悲哀を描く。
愛の宣言(1946) 東宝 監/渡辺邦男 出/花柳小菊
終戦で徴用先から戻った元芸者の女性が保険外交員に。
孔雀の園(1951) 新東宝 監/島耕二 出/木暮実千代
兜町の証券業界で男社会と戦う女性を軽妙洒脱に描く。
めし(1951) 東宝 監/成瀬巳喜男 出/上原謙、原節子
証券会社勤務、結婚5年目の夫婦の倦怠期を描く。【DVD】
大阪の宿(1954) 新東宝 監/五所平之助 出/佐野周二
左遷された保険会社員と下宿先の庶民との交流。【DVD】
若い人たち(1954) 全銀連 監/吉村公三郎 出/乙羽信子
銀行に勤める女性の視点から、職場の日常をスケッチ。
狼(1955) 近代映協 監/新藤兼人 出/乙羽信子 【DVD】
失業者、戦争未亡人など保険勧誘員になった5人の悲劇。
大番(1957) 東宝 監/千葉泰樹 出/加東大介
昭和の初め、兜町に飛び込んだ株屋の“キューちゃん”。
誰よりも金を愛す(1961)
新東宝 監/斎藤寅次郎 出/三木のり平 【DVD】
小原庄助の子孫が兜町の証券会社で出世を目指す喜劇。
【短】**K子の世界 BG生活の周辺**(1964)
岩波映画 企画/三菱銀行 監/藤久真彦
就職する高校生向けに、女性行員の仕事や生活を紹介。
誰のために愛するか(1971)
東宝 監/出目昌伸 原作/曾野綾子 出/酒井和歌子
銀行の支店窓口で働く女性が主人公の恋愛ドラマ。
祭りの準備(1975) ATG 監/黒木和雄 出/江藤潤 【DVD】
信用金庫で働きながらシナリオライターを目指す青年。
【TV】**NHK特集 小椋佳の世界**(1976) NHK 【NHK】【放L】
銀行員と二足のわらじだったミュージシャン・小椋の日常。
【記】**闇の中から 企業ファシズムとの闘い**(1981)
日本電波ニュース社 監/野田耕造
芝信用金庫の男女の昇格差別是正を求めた争議の記録。
【TV】**NHK特集 危険を捜す男たち**(1987) NHK 【放L】
様々な新保険を生み出す、損害保険会社の商品開発部。
あげまん(1990) 伊丹プロ 監/伊丹十三 出/宮本信子
“あげまん(上昇運)の女”と呼ばれる銀行OL。【DVD】
【TV】**クリスマス・イヴ**(1990) TBS 【DVD】
演/森山享ほか 脚/内館牧子 出/吉田栄作、仙道敦子
都市銀行の支店での、総合職男性と一般職女性の恋。
【TV】**真夜中のテニス**(1990) NHK 【放L】
演/富沢正幸 脚/田向正健 出/名取裕子、宅麻伸
為替ディーラーの世界で、男と肩を並べて働く女性たち。

【TV】**熱血！新入社員宣言**(1991) TBS
演/松本健ほか 脚/桃井章ほか 出/植草克秀、松雪泰子
銀行の新人トリオが、試練を乗り越えて一人前になるまで。
難波金融伝 ミナミの帝王(1992-2007)
ソフトガレージほか 監/萩庭貞明ほか 出/竹内力 【DVD】
大阪で高利貸を営む萬田銀次郎の金融ドラマシリーズ。
【TV】**派閥人事～頭取が泣いた日～**(1992)
TBS 演/坂崎彰 脚/岩間芳樹 出/渡瀬恒彦 【放L】
大手都銀で繰り上げられる派閥同志の熾烈な権力争い。
【TV】**銀行 男たちのサバイバル**(1994) NHK
演/岡崎栄ほか 脚/仲倉重郎 出/小林稔侍 【NHK】【放L】
金融界再編の中、同期入行の3人が合併を巡って対立。
【TV】**ナニワ金融道**(1996) フジテレビ
演/河毛俊作 脚/君塚良一 出/中居正広 【DVD】
金融会社に入った青年が、金に翻弄される人々と出会う。
ひみつの花園(1997) 東宝 監/矢口史靖 出/西田尚美
金勘定の大好きな銀行OLが、大金を捜す旅へ。【DVD】
金融腐蝕列島【呪縛】(1999)
東映 監督/原田真人 出/役所広司 【DVD】
不正融資で経営危機の都銀再生に取り組む行員たち。
黒い家(1999) 松竹 監/森田芳光 出/内野聖陽 【DVD】
生命保険社員に接近してきた、保険金詐欺夫婦の恐怖。
【TV】**すいか**(2003) 日本テレビ
演/佐藤東弥ほか 脚/木皿泉 出/小林聡美 【DVD】
信金勤務の30代独身OLが、自らの人生を見つめ直す。
【TV】**ハゲタカ**(2007) NHK 演/大友啓史ほか 脚/林宏司
出/柴田恭兵、大森南朋 【DVD】
「企業買収」を巡っての外資系ファンドと国内銀行の攻防。
【TV】**半沢直樹**(2013) TBS
演/福澤克雄ほか 脚/八津弘幸 出/堺雅人 【DVD】
大手都市銀行で繰り上げられる、数々の権力闘争。
紙の月(2014) 松竹 監/吉田大八 出/宮沢りえ 【DVD】
銀行で働く女性が、巨額の横領事件を起こすまで。
【TV】**さぬきうどん融資課**(2014) NHK 高松
演/石森康裕 脚/清水有生 出/桐谷健太
香川県内の「うどん店専門」の融資担当になった銀行員。
【TV】**花咲舞が黙ってない**(2014) 日本テレビ
演/南雲聖一ほか 脚/松田裕子ほか 出演/杏 【DVD】
各支店の様々なトラブルを解決する「臨店班」の女性行員。
【TV】**しんがり 山一證券 最後の聖戦**(2015) WOWOW
演/若松節朗ほか 脚/戸田山雅司 出/江口洋介 【DVD】
破綻後も社に留まり、清算と真相究明を続けた社員たち。

【労働映画のスターたち】第26回「和久井映見」 文：百永良武

おっとりしてるけど、芯はしっかり シンデレラから「世話好き」お母ちゃんへの道

日本を代表する「お母さん」俳優といえば？ 古くは『肝っ玉母さん』(1968、TBS)の京塚昌子、『時間ですよ』(1970、TBS)の森光子、さらには八千草薫、市原悦子、大竹しのぶ…といった方々が思い浮かぶが、2017年現在、抜群の演技力と好感度で支持されている「お母さん」といえばこの人、和久井映見さんだと思う。20代の頃は映画『息子』(1991、監督・山田洋次)、ドラマ『夏子の酒』(1994、フジ)での純情可憐なヒロインとして人気を集め、その後、結婚・出産を経た30代以降は、NHKの朝ドラ『ちりとてちん』(2007)、フジの月9(月曜9時)ドラマ『デート～恋とはどんなものかしら～』(2015)などで、ヒロインを見守る母親役を演じるようになった。彼女の役柄は、おっとりした物腰で派手さはないが、ここぞという時には芯の強さをしっかりと見せることが共通していると思う。家庭や職場を支える扇の要となり、おせっかいなくらい世話好きな「お母さん」像を作り上げた仕事歴を辿ってみよう。

1970年生まれ。横浜出身で中学・高校は川口。16歳の時にスカウトされ芸能の世界へ。デビュー当初はバブル華やかかりし頃で、同世代の中山美穂や宮沢りえなど「元気なヒロイン」の傍にいる、おとなしそうなお嬢さんだった。時代が求めている活発さは似合わないが、その代わりに、時代の「片隅」で生きる人々の役にはびたりとはまった。椎名誠の小説「倉庫作業員」を原作とする映画『息子』では、東京・尾久の町工場に勤める事務員・征子。製品の配達に訪れる青年(永瀬正敏)に見初められるが、彼女は聴覚に障害があり、なかなか気持ちを伝え合うことができない。台詞は一つもなく、手話などの仕種や表情で、若い女性の「変化」と「成長」を演じきったことが高く評価された。

連続ドラマ初主演作となったのが、尾瀬あきらの漫画が原作の『夏子の酒』。急逝した兄の遺志を継ぐため新潟の実家に戻り、「日本一の名酒」を作り出す夢に挑むヒロイン・夏子。幻の酒米を復活させるため、無農薬での栽培を試みるが、害虫の発生をおそれる近隣の農家からは猛反対される。東の間の「繁栄」の時代が終わり、「衰退」の不安が迫ってきた当時の農村社会の中で、「夢」の実現のために粘り強く働き続ける夏子を見て、周りの人々も彼女の「夢」に心を動かされていく展開が感動を呼んだ。このドラマをきっかけにして米作り、酒造りを志した人も多いという。

『夏子の酒』の成功を受け、その後は『妹よ』(1994)、『ピュア』(1996)、『バージンロード』(1997)とフジテレビの看板ドラマ枠「月9」での主演が続き、庶民の娘が様々な困難を乗り越え、幸せを手に入れる「シンデレラ・ストーリー」を演じた。この時期には実生活でも結婚・出産を経験するが、ここで童話のように「めでたしめでたし」とはならないのが、人生というもの。30代以降は、かつての「お嬢さん」が妻や母となってどう生きていくかを演じるようになり、シリアスからコメディまで自由自在の演技力が、再び注目されていく。

コメディで新境地を拓いたのが、ドラマ『動物のお医者さん』(2003、テレ朝)での大学院生・菱沼さん。深窓の令嬢として育てられたため一般学生とのギャップが大きく、彼女の(スローな)一挙一動が周囲に波紋を巻き起こす。自身の持ち味である「おっとり」を、確信的に前面に出すようになったのが、その後の活躍にもつながっていく。

京の長屋を舞台にした映画『虹の橋』(1993、監督・松山善三)をはじめ、時代劇への出演も数多いが、映画『丹下左膳 百万両の壺』(2004、津田豊滋)での矢場の粹なおお姐さん、ドラマ『華岡青洲の妻』(2005、NHK)では美しい姑に対抗心を燃やす嫁、そして『必殺仕事人2007』(ABC)での仕事人元締と、穏やかな佇まいとともに芯の強さも感じさせるキャラクターが活かされてきた。

「お母さん」役で全国的に知られるようになったのが、NHK大阪局制作の朝ドラ『ちりとてちん』。福井・小浜から大阪に出て落語家になる娘(貫地谷しほり)が主人公だが、大阪にいる娘に荷物を郵送しようとして、ついつい自分も列車に乗って大阪まで持ち運んでしまう…という大らかな「お母ちゃん」糸子を茶目っ気たっぷりに演じて人気を集めた。娘は「お母ちゃん」みたいにはなりたくないと言って都会に出たのだが、やがて自分も結婚して母となる時、家族のことを思い続ける母の大切さに気づき、「太陽みたいな」お母ちゃんになると決意する。「朝ドラ史上屈指の傑作」と呼ばれるこの作品の成功に、お母ちゃん＝和久井さんの存在が大きく貢献していたのは間違いないだろう。

今年の朝ドラ『ひよっこ』(2017、NHK)でも、集団就職の少女たちを温かく見守る町工場の舎監(寮母)・愛子さんを演じ、その愉快なキャラクターで新たなファンを獲得した。「シンデレラ」から「お母ちゃん」へと、人生を休みなく歩き続ける姿に、これからも注目していきます！



息子 (1991)



夏子の酒 (1994)



動物のお医者さん (2003)



華岡青洲の妻 (2005)



ちりとてちん (2007)



ひよっこ (2017)